

権現堂ごんげん だうは七条千本通でうせんほんどほりにあり。本尊は勝軍地蔵しょうぐんちざうにして聖徳太子の御作なり。「愛宕権現の本地仏なり」脇壇には聖徳太子たいしの像〔御自作なり〕又対王丸つしわうの守本尊地蔵まもりほんぞんちざうを安置す。「むかし対王丸人商人つしわうまるひとあきびとに拘引て行道より遁帰り、此寺を頼れば、住僧人商人ちゆうそうひとあきびとの追ひ来たる事を恐れて、葛籠ちゆうそうに隠して天井につる。果して尋きたりて葛籠をあやしみ開き見れば、此本尊身代となりて此難を救ひ給ふとなり」当寺は権現寺ごんげんじと号し、浄土宗なり。本尊阿弥陀仏あみだぶつは恵心の作なり。「むかしは歡喜寿院くわんきじゆといふ。洛中封疆藪の中、七条通の南に歡喜寺くわんきじの森とて旧跡あり、又島原西口の字を堂だうの口くちといふ。往古は此辺境内にして真言宗なり。旧寺の凶当寺にあり」